

2019年度
保健師のための放射線教育研修
東京医療保健大学

目 的	地域住民のみなさまの健康サポートを行っている保健師の方々を対象に、放射線に関する知識、とくに放射線被ばくに伴うリスクを理解していただき、「住民との放射線リスクコミュニケーション」を円滑に実践できるスキルの習得を目指した研修です。 研修会では、講義のほかに、放射線測定器を使った演習及びグループワークを通して放射線のリスクコミュニケーションスキルを高めていただければと思います。 原子力、放射線災害時に被災者の支援活動にあたる行政保健師・産業保健師のご参加をお待ちしております。
主 催	東京医療保健大学 放射線看護研修センター
協 賛	公益社団法人 日本アイソトープ協会
日 程	12月2日（月）9:00～18:00
場 所	東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部 国立病院機構キャンパス（東京都目黒区東が丘2-5-1）
対象者	保健師（行政保健師、産業保健師）
募集人数	10名
参加費	8000円（テキスト代含む）
申込み先	メール（ ho-kensyu-te@thcu.ac.jp ）にてお申し込みください。メールで件名は「放射線教育研修会申し込み」、メールの内容に希望研修日・申込者の氏名・所属・職種・連絡先（電話番号）をご記入ください。
使用テキスト	「看護と放射線」、「放射線のリスクを学ぶ」（公益社団法人日本アイソトープ協会刊行） 「放射線のリスクを学ぶ」については、受講生各自日本アイソトープ協会ホームページよりダウンロードのうえ持参してください。 （ダウンロードは https://www.irijs.or.jp/seminar/101.html ）
その他	（注意事項） キャンセルについて：メールで件名は「放射線教育研修会のキャンセル」、メールの内容に受講者の氏名と開催日を記入のうえ、申込み先へご連絡ください。 受講料は当日会場にてお支払いいただきます。

時 間	内 容
8:30～9:00	開場・受付
9:00～	開講
	演習を通して放射線を理解する
	・ 環境の放射線測定
	・ 放射線測定器の種類と使用目的
	・ 移動型X線撮影装置に対する防護方策（医療被ばく・職業被ばく・公衆被ばく）
	原子力・放射線利用と保健師の役割 ー放射線業務・原子力災害ー
	放射線被ばくに伴うリスクを理解する
	日常生活におけるリスクを理解する
	グループワーク ー住民の不安にどう答えるかー
	質疑応答
～18:00	閉講

担当者	東京医療保健大学 放射線看護研修センター
アドレス	ho-kensyu-te@thcu.ac.jp
t e l	03-5779-5031（代表）
f a x	